

1かけ算の決まり ①

名前

ねらい 0の乗法を理解する。

① さちこさんが点とりゲームをしたら、下の図のようになりました。

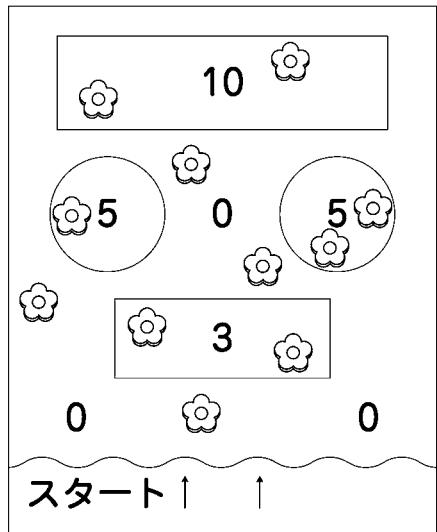
① 10点、5点、0点のところの、
とく点をもとめる式と答えを書きましょう。

$$10 \times \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

$$5 \times \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

$$0 \times \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

② 表をかんせいさせましょう。



入ったところ	入った数(こ)	とく点(点)
10点		
5点		
3点	2	6
0点		

② 計算をしましょう。

① 0×3

② 0×10

③ 0×0

④ 9×0

⑤ 10×0

⑥ 2×0

2

1 かけ算の決まり ②

名前

ねらい 乗数と積との関係、交換法則を理解する。

① 6のだんの九九の答えのならび方を調べましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	6	12	18	24		36	42	48	54



ふえる ふえる

へる へる

② () にあてはまることばを書きましょう。

かけ算では、かける数が1ふえると、

答えは () 数だけ大きくなります。

かける数が1へると、答えはかけられる数だけ () なります。

③ □にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 6 \times 5 = \square \times \square$$

$$\textcircled{2} \quad 6 \times 5 = 6 \times 4 + \square$$

$$\textcircled{3} \quad 5 \times 3 = 5 \times \square + 5$$

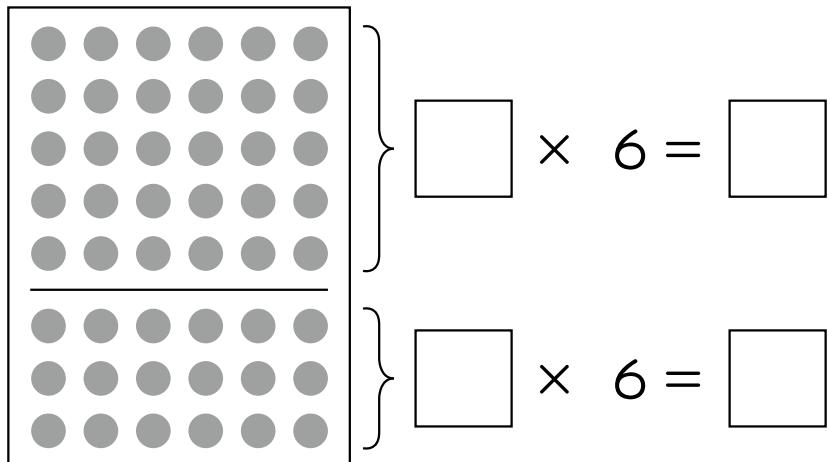
$$\textcircled{4} \quad 8 \times 6 = 8 \times 7 - \square$$

1 かけ算の決まり ③

名前

ねらい 乗法の分配法則を理解する。

- 1 ゆみさんは、 8×6 の答えのもとめ方を、下の図のように考えました。
□にあてはまる数を書きましょう。



あわせて

これを式にすると

$$8 \times 6 = (\square \times 6) + (\square \times 6)$$

- 2 □にあてはまる数を書きましょう。

① $8 \times 6 = (5 \times 6) + (\square \times 6)$

② $7 \times 9 = (\square \times 9) + (5 \times 9)$

③ $5 \times 8 = (5 \times 5) + (5 \times \square)$

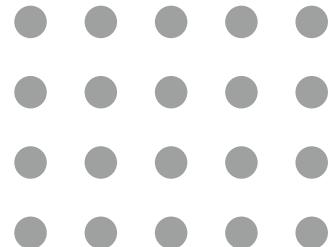
④ $6 \times 9 = (6 \times \square) + (6 \times 5)$

ねらい 乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数の乗法の計算の仕方を考えることができる。

① いろいろなきまりを使って、 12×5 の答えのもとめ方を考えましょう。
□の中にはまる数を書きましょう。

① 12の5こ分と考えて……

$$12 + 12 + 12 + 12 + 12 = \boxed{\quad}$$



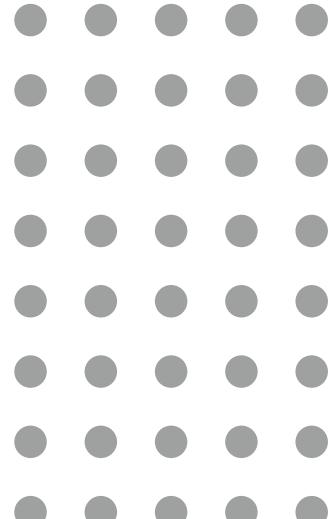
② $12 \times 5 = 5 \times 12$ と考えて……

$$\begin{array}{r} 5 \times 9 = 45 \\ 5 \times 10 = 50 \\ 5 \times 11 = \boxed{\quad} \\ 5 \times 12 = \boxed{\quad} \end{array}$$

5 ふえる

□ ふえる

□ ふえる



③ 分配のきまりを使って……

〈例〉

$$12 \times 5 \quad \begin{array}{r} \boxed{\quad} \times 5 = \boxed{\quad} \\ \boxed{\quad} \times 5 = \boxed{\quad} \end{array}$$

あわせて $\boxed{\quad}$

いろいろなもとめ方があるよね。

どのように考えると
計算しやすいかな？



5

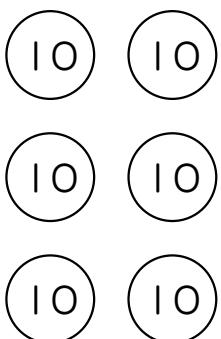
1かけ算の決まり ⑤

名前

ねらい 何十×何、何百×何の乗法の計算の仕方を理解する。

① □にあてはまる数を書きましょう。

①



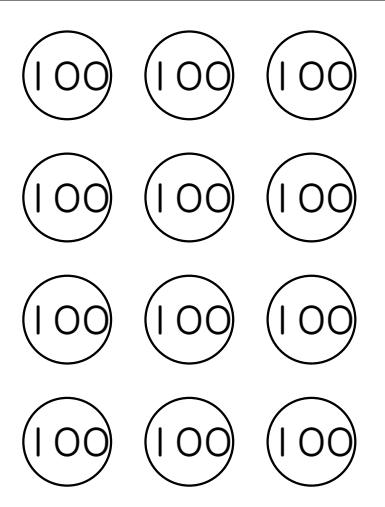
①

$$10 \text{が} (3 \times 2) = \square$$

10が□こで60

だから $30 \times 2 = \square$

②



②

$$100 \text{が} (4 \times 3) = \square$$

100が□こで1200

だから $400 \times 3 = \square$

② □に自分で数字を入れて問題をつくり、式と答えを書きましょう。

〈例〉 クッキーが入っているふくろが□ふくろあります。

1ふくろに□0まいづつ入っているとすると、

クッキーは、全部でなんまいになるでしょう。

(式)

答え

1 かけ算の決まり ⑥

名前

ねらい 乗法の結合法則を理解する。

① □にあてはまる数を書きましょう。

1こ20円のたまごが1箱に3こずつ入っています。
2箱では何円になるでしょう。

〈考え方①〉

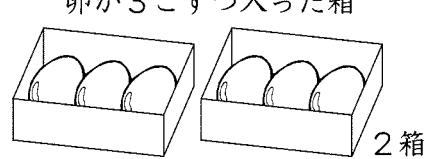
$$\boxed{} \times \boxed{} \times 2 = 120$$

1箱の代金

〈考え方②〉

$$20 \times \boxed{} \times \boxed{} = 120$$

たまごの数



② () にあてはまるこばを書きましょう。

かけ算では前からじゅんにかけても、
後の2つを先にかけても答えは()になります。

③ 2通りの考え方で計算しましょう。

$$\textcircled{1} \quad 4 \times 3 \times 2 \quad \begin{array}{l} \xrightarrow{(4 \times 3) \times 2 = 12 \times \boxed{} = 24} \\ \xrightarrow{4 \times (3 \times 2) = 4 \times \boxed{} = 24} \end{array}$$

$$\textcircled{2} \quad 30 \times 2 \times 3 \quad \begin{array}{l} \xrightarrow{(30 \times 2) \times 3 = \boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}} \\ \xrightarrow{30 \times (2 \times 3) = \boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}} \end{array}$$

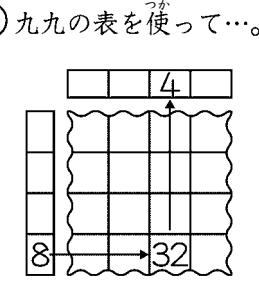
1かけ算の決まり ⑦

名前

ねらい 積から乗数や被乗数を見付けることができる。(除法の素地)

① 右の式の□にあてはまる数を見つけましょう。

$$8 \times \square = 32$$



8のだんの九九をとなえて…。

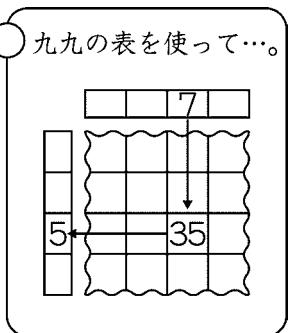
$8 \times \boxed{1} = 8$	ハ一が 8
$8 \times \boxed{2} = 16$	ハ二 16
$8 \times \boxed{3} = 24$	ハ三 24
$8 \times \boxed{4} = 32$	ハ四 32

② □にあてはまる数を書きましょう。

① $6 \times \square = 36$ ② $4 \times \square = 12$ ③ $7 \times \square = 42$

③ 右の式の□にあてはまる数を見つけましょう。

$$\square \times 7 = 35$$



数をじゅんにあてはめて…。

$\boxed{2} \times 7 = 14$	二七 14
$\boxed{3} \times 7 = 21$	三七 21
$\boxed{4} \times 7 = 28$	四七 28
$\boxed{5} \times 7 = 35$	五七 35

④ □にあてはまる数を書きましょう。

① $\square \times 5 = 45$ ② $\square \times 4 = 28$ ③ $\square \times 8 = 48$

2 時こくと時間 ①

名前

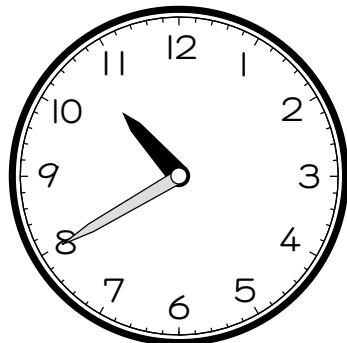
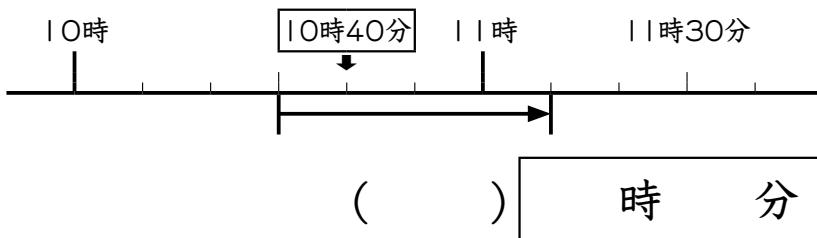
ねらい ある時刻からある時間経過した時刻を計算で求めることができる。

1 まさとさんは、土曜日に、サッカーのれんしゅうをしました。

午前10時40分からはじめて、30分後にれんしゅうがおわりました。

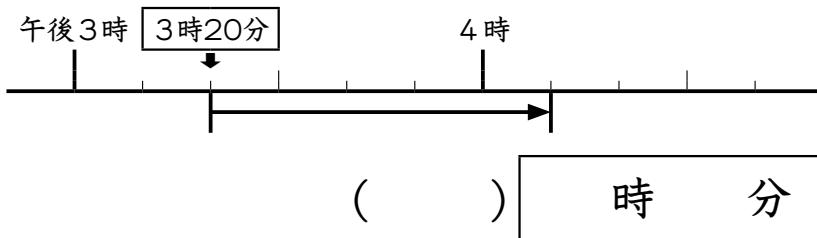
れんしゅうがおわった時こくは何時何分でしょうか。

()の中には午前か午後かを、□の中には時こくを書きましょう。



2 まさとさんは、午後3時20分から50分間本を読みました。

何時何分まで読んだでしょうか。



3 次の時こくをもとめましょう。

()の中には午前、午後を、□の中には時こくを書きましょう。

① 午後4時25分から45分後の時こく



② 午前11時45分から30分後の時こく

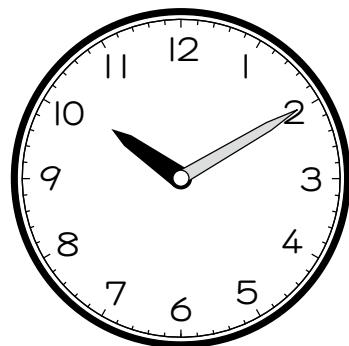
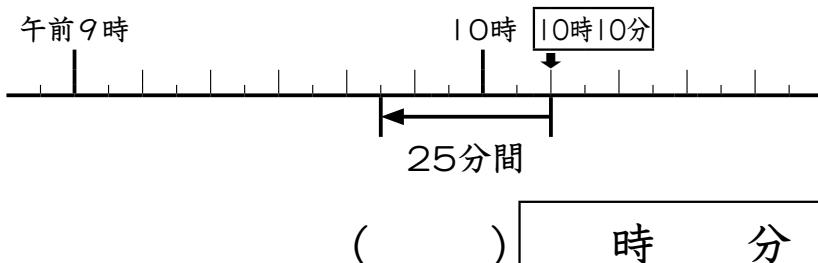


2 時こくと時間 ②

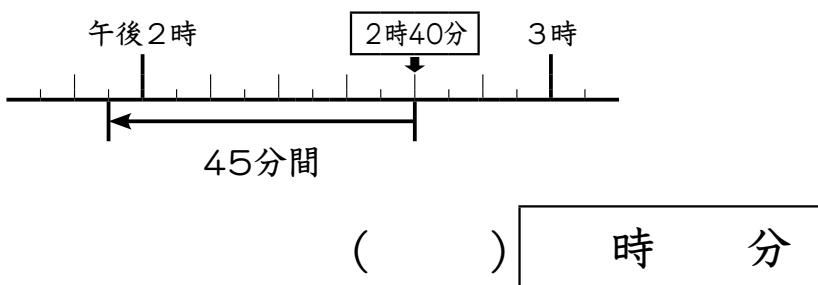
名前

ねらい ある時刻からある時間前の時刻を計算で求めることができる。

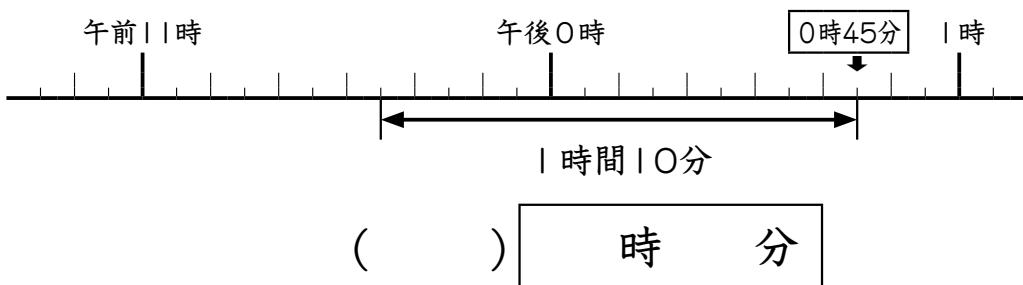
- ① まさとさんは、友だちと駅で午前10時10分にまち合わせをしました。
まさとさんの家から駅までは、歩いて25分間かかります。
家を何時何分に出ればいいでしょうか。



- ② 時こくをもとめましょう。
()の中には午前か午後を、□の中には時こくを書きましょう。
- ① 午後2時40分の45分前の時こく



- ② 午前0時45分の1時間10分前の時こく

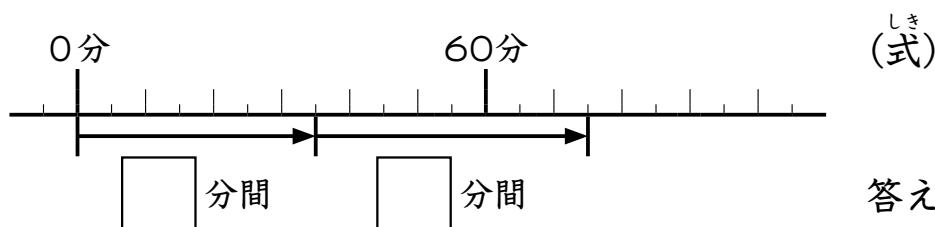


2 時こくと時間 ③

名前

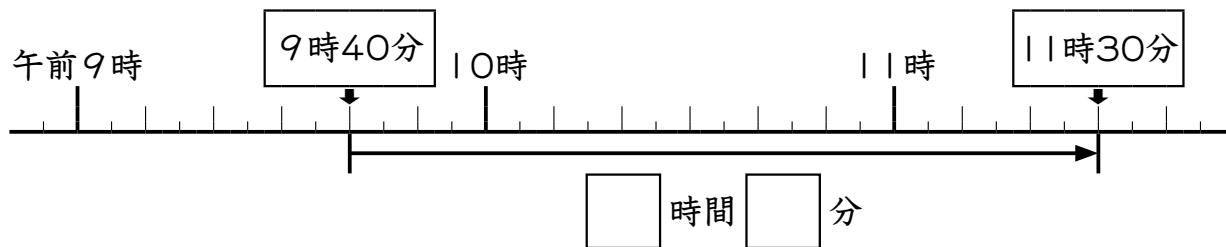
ねらい 時間と時間の和や、時刻と時刻の時間を計算で求めることができる。

- 1 えりさんは、かん字の練習を35分間、算数のプリントを40分間やりました。
勉強していた時間は、あわせて何分間でしょうか。



答え

- 2 商店がいの見学に出発する時こくは、午前9時40分です。
学校にもどってくる時こくは、午前11時30分です。
見学に行っている時間は、何時間何分でしょうか。
□の中には、数を書きましょう。



答え

- 3 時間をもとめましょう。

- ① 35分間と25分間をあわせた時間。

答え

- ② 午前10時25分から午後1時までの時間。

答え

11

2 時こくと時間 ④

名前

ねらい 時間の単位「秒」と単位の関係を理解する。

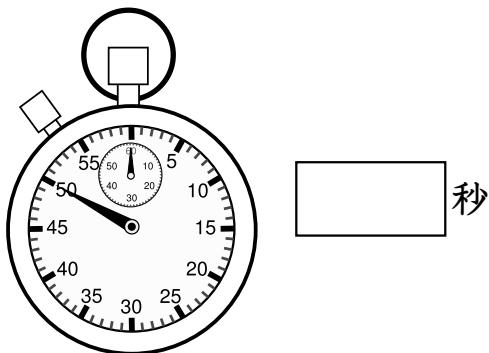
① □にあてはまる数を書きましょう。

① 1分 = 60秒なので、80秒は □ 分 □ 秒です。

② 3分は □ 秒です。

③ 2分15秒は □ 秒です。

② ストップウォッチは何秒を表しているでしょうか。



□ 秒



□ 秒

③ どちらの時間が長いでしょう。長い方を○でかこみましょう。

① (1分 • 70秒) ② (140秒 • 2分)

③ (1分40秒 • 90秒) ④ (2分 • 119秒)

ねらい 時刻や時間の計算を活用して、条件に合った計画を立てることができる。

① 放課後の過ごし方について計画を立てます。

おやつ
15分

算数の宿題
25分

ひるね
20分

読書
10分

移動
10分

友だちと遊ぶ
50分

国語の宿題
40分

ゲーム
15分

着替え
5分

① 午後3時30分に家に着いて、午後5時からサッカーの練習が始まります。サッカーに行くまでに、算数か国語か、どちらか1つは宿題を終わらせるやくそくになっています。
とおるさんの計画のつづきを考えましょう。

家に着く 午後3時30分

〈例〉



算数の宿題
25分



おやつ
5分



友だちと遊ぶ
50分



移動
10分

移動
10分

サッカーの練習 午後5時

3 たし算とひき算 ①

名前

ねらい 3位数+3位数で百の位に繰り上がりのない加法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。

① ○や□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 427 \\ + 316 \\ \hline \end{array}$$

427 + 316

27 16

$$\begin{array}{r} 400 \\ + 300 \\ \hline \end{array}$$

400 + 300

43

□ + 43 = □

② つぎの計算を筆算でしましょう。

① 453 + 345

② 825 + 132

③ 525 + 374

④ 318 + 256

⑤ 635 + 129

⑥ 308 + 617

14

3 たし算とひき算 ②

名前

ねらい 3位数+3位数で百の位に繰り上がる加法の計算ができる。

① つぎの計算を筆算でしましょう。

$$145 + 774$$

$$464 + 275$$

$$359 + 551$$

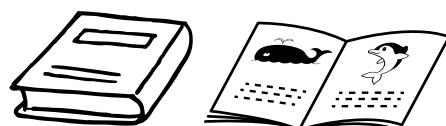
$$628 + 75$$

$$605 + 98$$

$$896 + 18$$

② 495円の本と、385円のざっしを買います。
代金は何円になるでしょうか。

式



答え

15

3 たし算とひき算 ③

名前

ねらい 3位数+3位数で千の位に繰り上がる加法の計算や、4位数+4位数の加法の計算ができる。

① つぎの計算を筆算でしましょう。

$$826 + 413$$

$$754 + 384$$

$$783 + 317$$

$$7376 + 2538$$

$$5985 + 2719$$

$$3796 + 4285$$

$$5347 + 2653$$

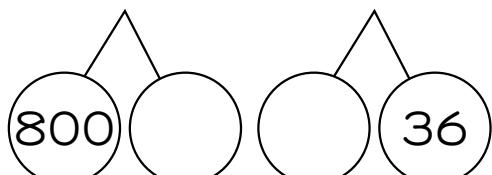
3 たし算とひき算 ④

名前

ねらい 3位数 - 3位数で百の位から繰り下がりのない減法の計算を理解し、筆算ができる。

① つぎの○や□にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 889 - 236$$



$$800 - 200 = \boxed{}$$

$$89 - 36 = \boxed{}$$

$$600 + \boxed{} = \boxed{}$$

② つぎの計算を筆算でしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 265 - 128$$

$$\textcircled{2} \quad 678 - 159$$

$$\textcircled{3} \quad 380 - 157$$

$$\textcircled{4} \quad 990 - 965$$

$$\textcircled{5} \quad 751 - 645$$

$$\textcircled{6} \quad 272 - 269$$

3 たし算とひき算 ⑤

名前

ねらい 3位数-3位数で百の位から繰り下がる減法の計算ができる。

① つぎの計算を筆算でしましょう。

$$321 - 175$$

$$644 - 384$$

$$456 - 288$$

$$521 - 326$$

$$680 - 381$$

$$362 - 179$$

② □の中に6~9の数をあてはめて3けた-3けたの問題をつくります。

□にあてはまる数を書きましょう。

①

			4
-		3	
	1	2	5

②

		1	
-	5		
	3	4	2

3 たし算とひき算 ⑥

名前

ねらい 波及的に繰り下がる減法の計算の仕方を理解する。

① つぎの計算を筆算でしましょう。

$$602 - 176$$

$$503 - 291$$

$$401 - 27$$

$$406 - 209$$

$$800 - 306$$

$$501 - 6$$

② □の中に1~4の数をあてはめて3けた-3けたの問題をつくります。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} & 8 & 0 & 0 \\ - & & & \\ \hline & 7 & 9 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} & 8 & 0 & \\ - & & & 9 \\ \hline & 6 & 5 & \end{array}$$

19

3 たし算とひき算 ⑦

名前

ねらい 4位数-3位数の減法の計算や、4位数-4位数の減法の計算ができる。

① つぎの計算を筆算でしましょう。

$$① 603 - 278$$

$$② 706 - 408$$

$$③ 1000 - 925$$

$$④ 1743 - 833$$

$$⑤ 1175 - 842$$

$$⑥ 1005 - 923$$

$$⑦ 7543 - 3571$$

$$⑧ 9674 - 2967$$

$$⑨ 4002 - 248$$

3 たし算とひき算 ⑧

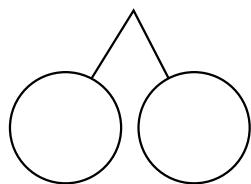
名前

ねらい 加法と減法の暗算ができる。

① 46 + 37 の暗算^{あんざん}のしかたをかんがえましょう。

○にあてはまる数を書きましょう。

$$46 + 37$$



上の位から計算して

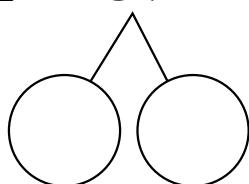
$$46 + \bigcirc = 76$$

$$76 + \bigcirc = 83$$

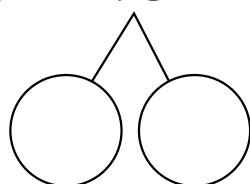


② 暗算でしましょう。

① $62 + 31$



② $47 - 18$



③ 暗算でしましょう。

① $33 + 66$

② $53 + 38$

③ $25 + 19$

④ $42 + 28$

⑤ $46 - 13$

⑥ $74 - 45$

⑦ $71 - 29$

⑧ $80 - 25$

⑨ $90 - 76$

21

3 たし算とひき算 ⑨

名前

ねらい 加法や減法の性質を用いて、工夫して計算する仕方を考えることができる。

- ① くふうして計算します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 499 + 380 = \boxed{}
 \\ \downarrow \boxed{} \text{をたす} \quad \uparrow \boxed{} \text{をひく}
 \\ 500 + 380 = 880
 \end{array}$$

- ② くふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r}
 1000 - 487 = \boxed{}
 \\ \downarrow \boxed{} \text{をひく} \quad \uparrow \boxed{} \text{をたす}
 \\ 999 - 487 = 512
 \end{array}$$

- ③ くふうして計算しましょう。

① $103 + 299$

② $497 + 259$

③ $530 + 98$

④ $500 - 95$

⑤ $700 - 298$

⑥ $1000 - 768$

22

名前

ねらい 3口の加法の場面で、結合法則を用いて工夫して計算することができる。

① くふうして計算します。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 414 + 72 + 228 = 414 + (\boxed{} + \boxed{})$$

$$= 414 + \boxed{}$$

$$= \boxed{}$$

$$\textcircled{2} \quad 644 + 132 + 356 = 644 + \boxed{} + 132$$

$$= \boxed{} + 132$$

$$= \boxed{}$$

② 下の計算をくふうして計算しましょう。

$$\textcircled{1} \quad 399 + 518 + 482$$

$$\textcircled{2} \quad 198 + 237 + 302$$

$$\textcircled{3} \quad 281 + 451 + 549$$

23

3 たし算とひき算
(学んだことを使おう) ⑪

名前

ねらい 日常生活の場面と関連付けて、加法や減法の計算を活用することができる。

① まなみさんのおこづかい帳を見て、問題に答えましょう。

おこづかい帳				
月／日	ことがら	入ったお金	使ったお金	のこったお金
	今持っているお金	1089円		1089円
5／1	おこづかい	500円		1589円
5／3	ノート		150円	1439円
5／10	プレゼント		□ 円	□ 円

① 5／1の「のこったお金」は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\boxed{} + \boxed{} = 1589\text{円}$$

② 5／3の「のこったお金」は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\boxed{} - \boxed{} = 1439\text{円}$$

③ 5／10にお兄さんにたん生日プレゼントを買います。下のⒶ～Ⓔの中からプレゼントをえらんで、おこづかい帳の□の中に書きこみましょう。



24

3年 杉並算数ドリル

算数ワールド
まほうじん

学習した日 月 日

名前

ねらい 魔法陣の空欄に当てはまる数を、筋道立てて考えることができる。

- ① 下のまほうじんに2～10の数を1つずつあてはめて、たて、横、ななめの3つの数をたした合計が18になるようにして、まほうじんをつくりましょう。

3	10	
		9

- ② 下のまほうじんに3～11の数を1つずつあてはめて、たて、横、ななめの3つの数をたした合計が21になるようにして、まほうじんをつくりましょう。

	11	
	7	
8		

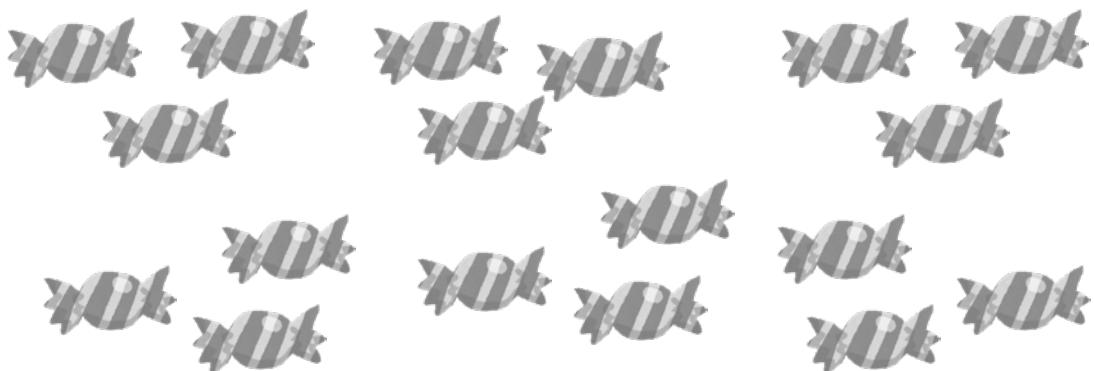
25

名前

ねらい 除法の意味（包含除）、除法の式について理解する。

① つぎの問題を考えましょう。

① あめが18こあります。これを1ふくろに3こずつ入れます。何ふくろで
きるでしょうか。下の18この  を3こずつかこみましょう。
また、□にあてはまる数や式を書きましょう。



3こずつ ふくろに分けられます。

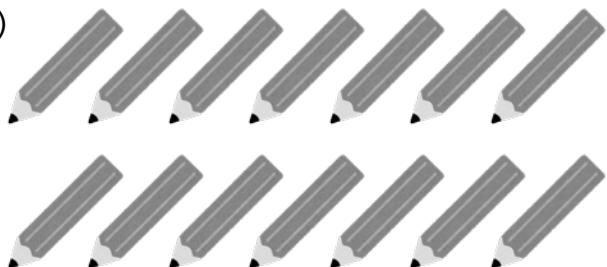
② 18こを3こずつ分けると、 つに分けられます。

式は、 = となります。

② えんぴつが14本あります。1人に2本ずつくばると、
何人に分けられるでしょうか。

わり算の式と答えをもとめましょう。

図)



式)

÷

答え

ねらい 除法（包含除）の答えの求め方を理解する。

① おはじきが15こあります。

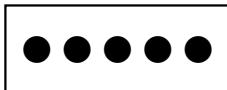
1人に5こずつくばると、何人に分けられるでしょうか。

① わり算の式に表しましょう。

式 ÷

② 答えのもとめ方を考えます。□に数を入れましょう。

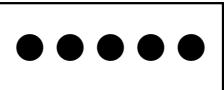
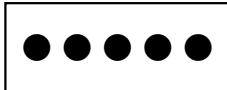
5こずつ1人分



1つの数 いくつ分 全部の数

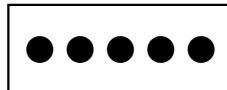
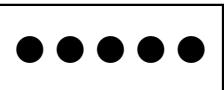
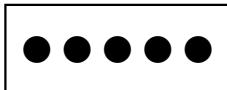
$$5 \times \square = 15$$

5こずつ2人分



$$5 \times \square = 15$$

5こずつ3人分



$$5 \times \square = 15$$

答えは、 $5 \times \square = 15$ の□にあてはまる数です。

③ 答えは、 のだんの九九でもとめられます。

④ 答え 人

② いちごが35こあります。1人に5こずつ分けると、
何人に分けられるでしょうか。



式



答え 人



27

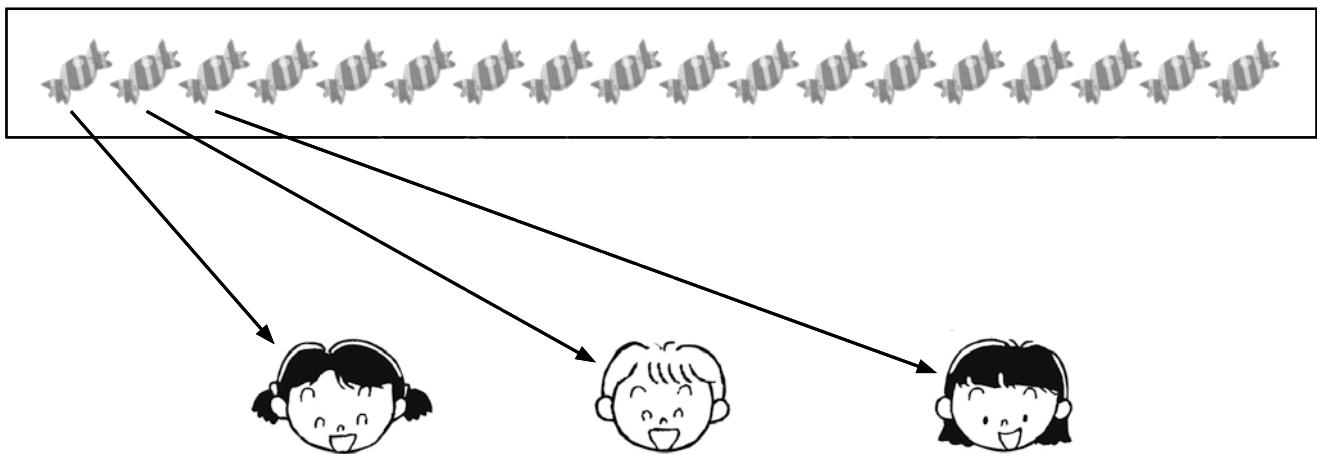
名前

ねらい 除法の意味（等分除）を理解する。

① つぎの問題を考えてみましょう。

① あめが18こあります。これを3人に同じ数ずつ分けると、1人分は何こになるでしょうか。

下の18このあめを線でつないで3人に分けてみましょう。



1つずつじゅんにくばっていくと、1人分は こになります。

18こを3人で同じ数ずつ分けると、1人分は こになります。

② このことをわり算の式で表します。にあてはまる数を書きましょう。また、⑦⑧に「わる数」「わられる数」のことばを入れましょう。

÷ = となります。

⑦ ⑧

② 8本のえんぴつを4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何本になるでしょうか。

① わり算の式に表しましょう。

式 ÷

② 答えをもとめましょう。

答え 本

ねらい 除法（等分除）の答えの求め方を理解する。

① 30このキャラメルを6人で同じ数ずつ分けます。

1人分はどこになるでしょうか。

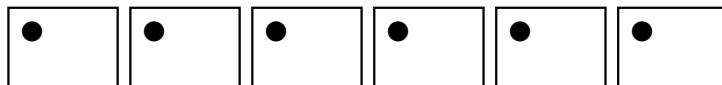
① わり算の式に表しましょう。

式

÷

② 答えのもとめ方を考えます。図の□にあてはまる数を書きましょう。

1こずつ6人分



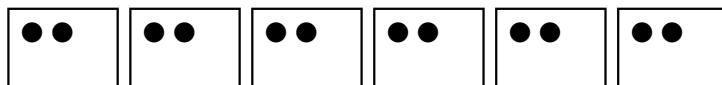
1つ分の数

いくつ分

全部の数

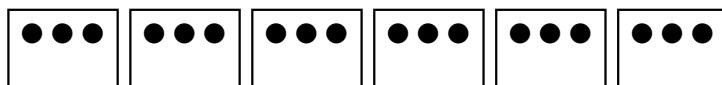
$$\square \times 6 = 6$$

2こずつ6人分



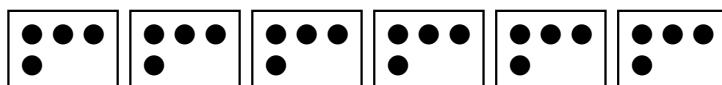
$$\square \times 6 = 12$$

3こずつ6人分



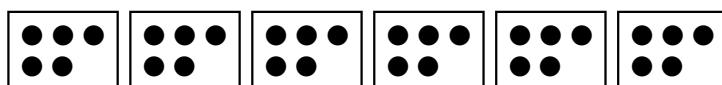
$$\square \times 6 = 18$$

4こずつ6人分



$$\square \times 6 = 24$$

5こずつ6人分



$$\square \times 6 = 30$$

② おはじきが40こあります。5人に同じ数ずつ分けると、

1人分のおはじきはどこでしょうか。

式

答え

③ アサガオのたねが56こあります。8つの植木ばちに同じ数ずつまくと、

植木ばち1つ分のたねはどこになるでしょうか。

式

答え

ねらい 包含除と等分除を統合的に理解する。

① 8 ÷ 4 の式になる問題のつづきをつくり、答えをもとめましょう。

①

(A) (何人に分けるかをもとめる問題)

8本のえんぴつがあります。
このえんぴつを、1人に

(B) (1人分をもとめる問題)

8本のえんぴつがあります。
このえんぴつを、4人で

式 $8 \div 4 = \square$

式 $8 \div 4 = \square$

② 答えのもとめ方を考えます。□と数を使って、かけ算の式にしましょう。

(A)

(B)

③ 答えはかけ算の□にあてはまる数です。答えを書きましょう。

答え 人

答え 本

④ どちらの問題も のだんの九九を使って答えをもとめます。

② つぎのわり算は、何のだんの九九を使えばよいでしょうか。

① $28 \div 7$

のだん

② $36 \div 4$

のだん

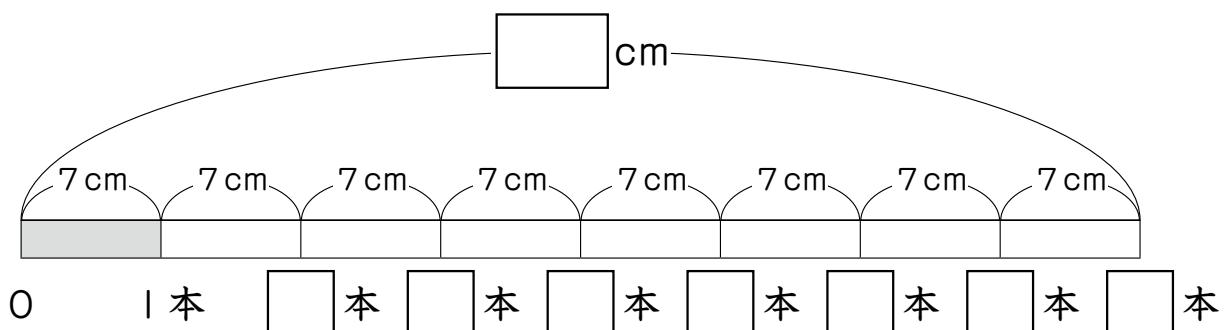
ねらい 包含除と等分除の場面について、それぞれテープ図に表して理解を深める。

① 56cmのリボンがあります。ゆみさんとけんじさんは、このリボンの長さをつかって、 $56 \div 7$ の式になる問題をつくりました。ゆみさんとけんじさんがつくった問題を図に表し、答えをもとめましょう。

〈ゆみさんのつくった問題〉

56cmのリボンを7cmずつ切ると、7cmのリボンは何本できるでしょうか。

① 図の□にあてはまる数を書きましょう。

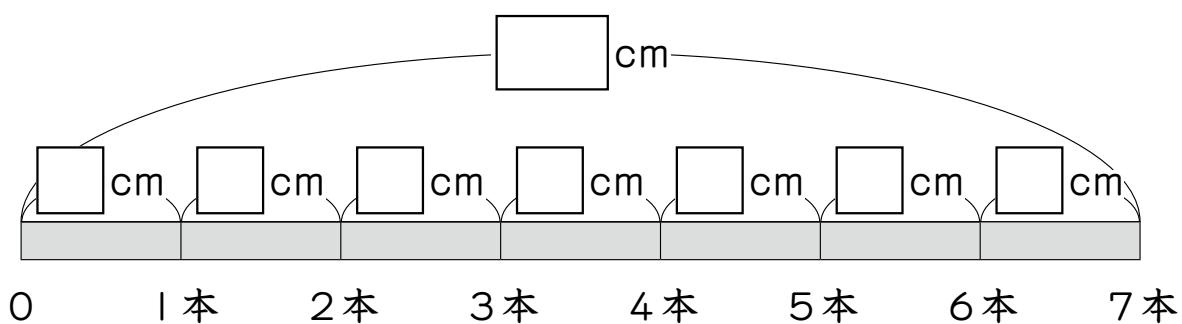


② $56 \div 7 =$ □ 答え

〈けんじさんのつくった問題〉

56cmのリボンを同じ長さに7本に分けると、1本分は何cmになるでしょうか。

③ 図の□にあてはまる数を書きましょう。



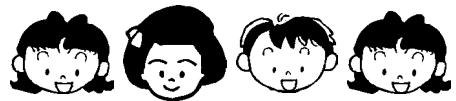
④ $56 \div 7 =$ □ 答え

31

名前

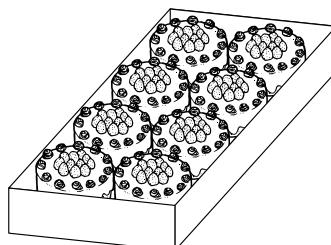
ねらい 0や1の除法の意味を理解する。

- 1 箱に入っているケーキを、それぞれ4人で同じ数ずつ分けます。
1人分はどこになるか、調べましょう。



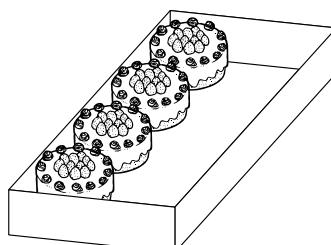
● ケーキが8このとき

式

1人分のケーキの数 こ

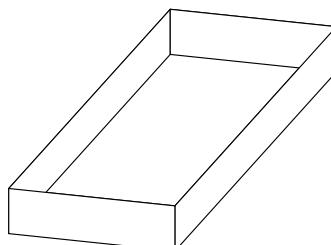
● ケーキが4このとき

式

1人分のケーキの数 こ

● ケーキが0このとき

式

1人分のケーキの数 こ

- 2 9このいちごを1人1こずつ配ると、何人に分けられるでしょうか。

$$\boxed{} \div \boxed{} = \boxed{}$$

答え

- 3 計算をしましょう。

① $6 \div 6$

② $1 \div 1$

③ $0 \div 5$

④ $0 \div 3$

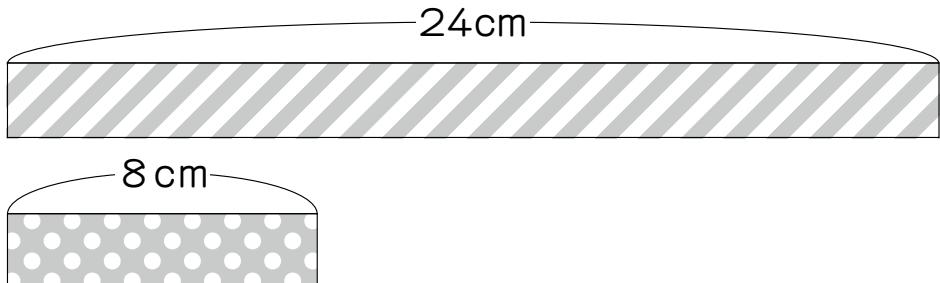
⑤ $8 \div 1$

⑥ $7 \div 1$

ねらい 何倍かを求めるのに除法を用いることを理解する。

- 1 しまもようのリボンの長さは24cmで、水玉もようのリボンの長さは8cmです。
しまもようのリボンの長さは、水玉もようのリボンの長さの何倍でしょうか。

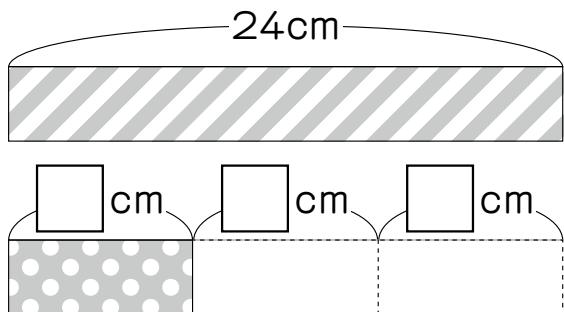
しまもようのリボン



水玉もようのリボン

□にあてはまる数を書きましょう。

24cmは8cmのいくつ分かを
考えて…。



$$24 \div 8 = \boxed{\quad}$$

$8 \times \square = 24$ の□にあてはまる
数をもとめればいいから…。

$$8 \times \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$$

$$24 \div 8 = \boxed{\quad}$$

答え

- 2 あめが63こ、チョコレートが9こあります。

あめのこ数は、チョコレートのこ数の何倍でしょうか。

式

答え

33

名前

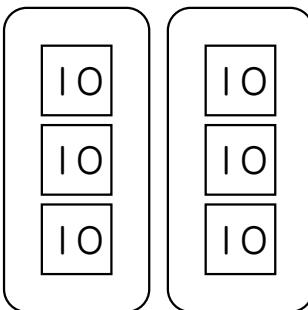
ねらい 何十÷1位数の除法の計算の仕方を理解する。

- ① 60このおはじきを2人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何こになるでしょうか。
右の図を見て、□にあてはまる数を書きましょう。

60を が6こあるとみて が $(6 \div 2)$ こ

$6 \div 2 = 3$

$60 \div 2 = \boxed{}$



答え

こ

- ② つぎのわり算をしましょう。

① $30 \div 3$

② $80 \div 4$

③ $50 \div 5$

- ③ □0÷1けたの問題を自分でつくって計算しましょう。

① 0 \div =

② 0 \div =

③ 0 \div =

④ 0 \div =

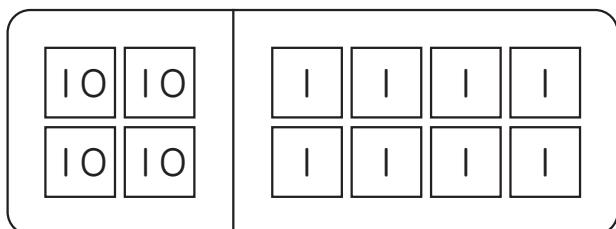
34

4わり算 ⑩

名前

ねらい 位ごとにわりきれる2位数÷1位数の除法の計算の仕方を理解する。

1 48÷4の答えをくふうしてもとめましょう。



(ア)

(イ)

考え方

上の図をヒントにして、48を分けて、考えてみよう。

48を (ア) と (イ) に分ける。

$$\begin{array}{l} (\text{ア}) \\ \text{○} \end{array} \div 4 = \boxed{}$$

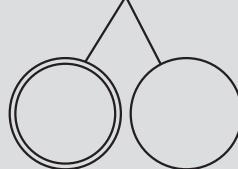
$$\begin{array}{l} (\text{イ}) \\ \text{○} \end{array} \div 4 = \boxed{}$$

48÷4の答えは

$$48 \div 4 = \boxed{}$$

位ごとに考えているね。

$$48 \div 4$$



$$\text{○} \div 4 = \boxed{}$$

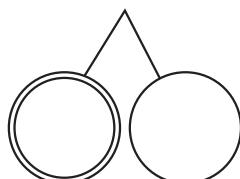
$$\text{○} \div 4 = \boxed{}$$

$$\hline \text{あわせて} \boxed{}$$

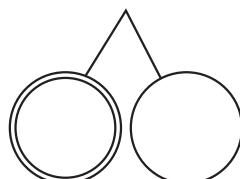


2 つぎのわり算をしましょう。

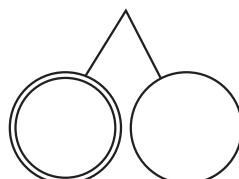
$$\textcircled{1} \quad 46 \div 2$$



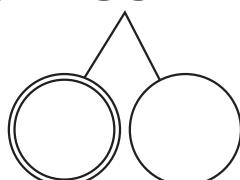
$$\textcircled{2} \quad 55 \div 5$$



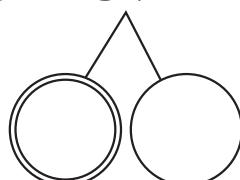
$$\textcircled{3} \quad 63 \div 3$$



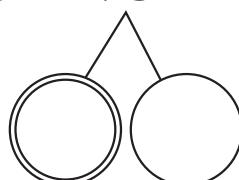
$$\textcircled{4} \quad 86 \div 2$$



$$\textcircled{5} \quad 39 \div 3$$



$$\textcircled{6} \quad 96 \div 3$$



35

5 長さ ①

名前

ねらい 巻尺の機能と使い方を理解する。(2時間)

① 長いところや丸いところをはかるのにべんりな、下の絵のようなものの名まえを書きましょう。

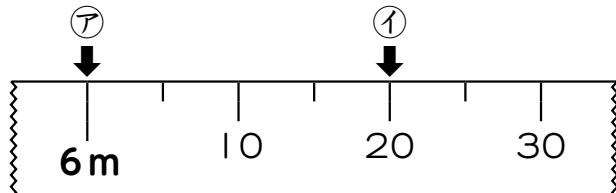
名まえ ()



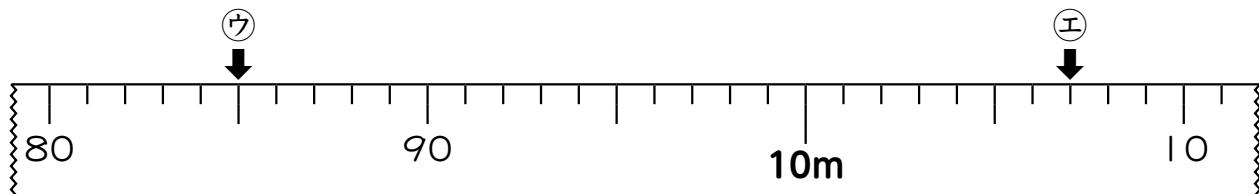
●長さをはかる時、どのようなことに気をつけると、よいでしょうか。□の中に数を書きましょう。

- ① 一方のはしを□の目もりのいちにきちんと合わせる。
- ② ゆるんだり、ねじれたりしないように、まっすぐのばす。

② 目もりをよんで()に書きましょう。



ア ()
イ ()



ウ () エ ()

③ つぎのアからウの長さをはかる道具を線でむすびましょう。

- ア つくえの高さ ●
- イ 頭のまわりの長さ ●
- ウ 黒ばんの横の長さ ●

- 1mのまきじやく
- 5mのまきじやく
- 1mのものさし

36

3年 杉並算数ドリル

5 長さ ②

学習した日 月 日

名前

ねらい 身の回りのものの長さを巻尺で測定することができる。

① まきじやくを使って、いろいろなところの長さをはかりました。
はかったところと長さを線でむすびましょう。

① 体育館のたての長さ ●

● ② 2m70cm

② ろう下のはば ●

● ① 1m

③ 教室の横の長さ ●

● ④ 30m

④ 鉄棒の長さ ●

● ③ 8m

② つぎの①から③の長さにちかい長さをえらんで、○でかこみましょう。

① 教室のドアのたての長さ

(2m 1m 30cm)

② 黒ばんの横の長さ

(10m 4m 1m)

③ つくえの高さ

(3m 1m50cm 70cm)

37

5 長さ ③

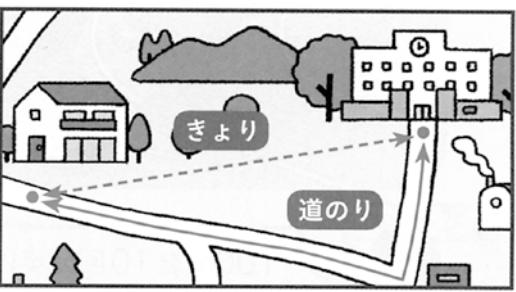
名前

ねらい 道のりと距離の意味、長さの単位「km」を理解する。

① 道にそってはかった長さを () といいます。

また、まっすぐにはかった長さを () といいます。

1000mは [] です。

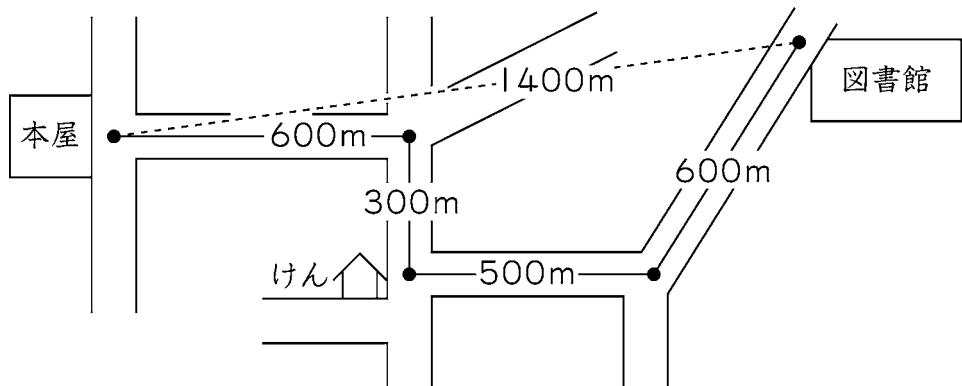


② 1300mは、何km何mでしょうか。

1300m=[]km []m

③ 下の図は、けんさんの家の近くの地図です。

地図を見て、□にあてはまる数を書きましょう。



① けんさんの家から本屋までの道のりは []m、

図書館までの道のりは []mです。

② 本屋から図書館までの道のりは []mで、

きよりは []mです。

ねらい 100mや1kmなどの長さを体験し、長さについての感覚を豊かにする。

□ 次の①～⑤までの長さにもっとも近い長さを、ア、イ、ウの中からえらんで、記号を○でかこみましょう。

① 小学校にあるプールの横の長さ

(ア 10cm イ 10m ウ 10km)

② 学校から駅までの道のり

(ア 20cm イ 2m ウ 2km)

③ 小学校にある体育館のたての長さ

(ア 30m イ 200m ウ 3km)

④ 小学校の校しゃの高さ

(ア 10m イ 100m ウ 1km)

⑤ 小学校の教室のてん上までの高さ

(ア 30cm イ 3m ウ 30m)

ねらい 資料の分類整理の仕方を理解する。

① すきな食べ物を調べました。

ひとりずつカードに書いたら、下のようになりました。

ハンバーグ	スペゲッティ	カレー	おすし
ハンバーグ	ハンバーグ	スペゲッティ	カレー
やきそば	カレー	ハンバーグ	スペゲッティ
スペゲッティ	スペゲッティ	カレー	カレー
カレー	ハンバーグ	カレー	ハンバーグ

① 下の表に正の字を書いて
整理しましょう。

ハンバーグ	
スペゲッティ	
カレー	
おすし	
やきそば	

② 正の字を数字に書きなおして
下の表に整理しましょう。

食べもの	人数(人)
カレー	
ハンバーグ	
スペゲッティ	
その他	
合計	

③ 数がいちばん多い、すきな食べ物は何でしょうか。

()

④ カレーとスペゲッティの人数のちがいは何人でしょうか。

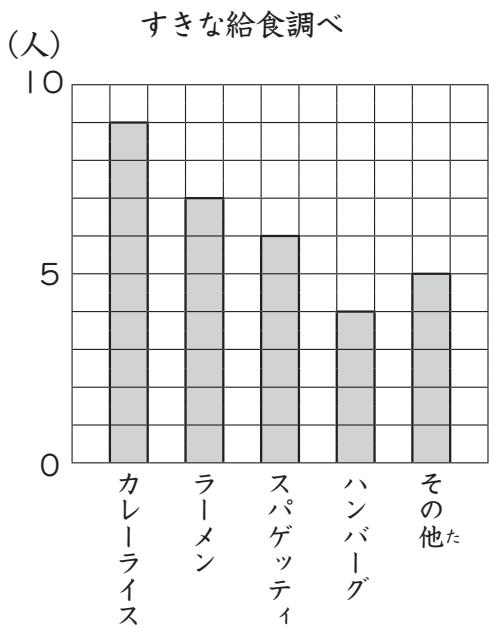
()

6 表とぼうグラフ ②

名前

ねらい 棒グラフの読み方を理解する。

① 下のグラフは、3年1組の全員のすきな給食を調べたぼうグラフです。



① たてじくの1めもりは何人を表しているでしょうか。

()

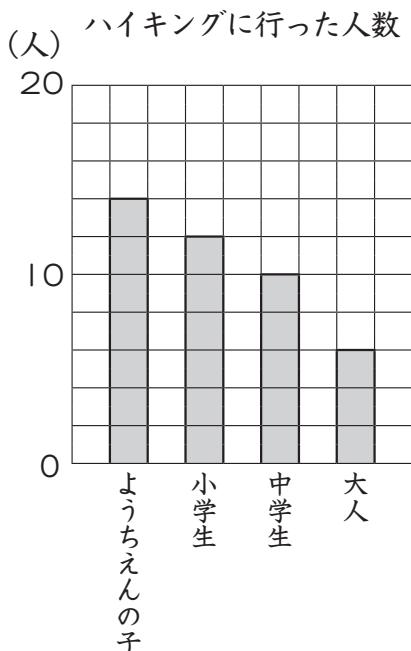
② ハンバーグとラーメンでは、何人ちがうでしょうか。

()

③ 3年1組の人数は何人でしょうか。

()

② あきこさんは、子ども会でハイキングに行きました。ハイキングに行った人数を調べ、下のようなグラフに表しました。グラフを見て答えましょう。



① このグラフを何グラフというでしょうか。

()

② たてじくの1めもりは、何人を表しているでしょうか。

()

③ それぞれの人数を□の中に書きましょう。

ようちえんの子	<input type="text"/>	人
小 学 生	<input type="text"/>	人
中 学 生	<input type="text"/>	人
大 人	<input type="text"/>	人

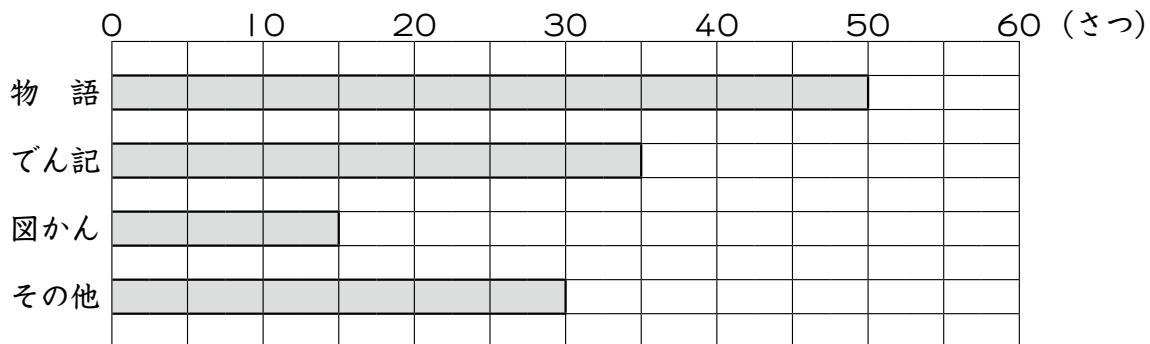
41

6 表とぼうグラフ ③

名前

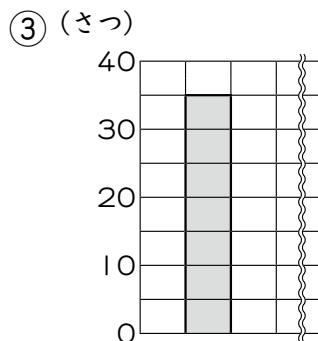
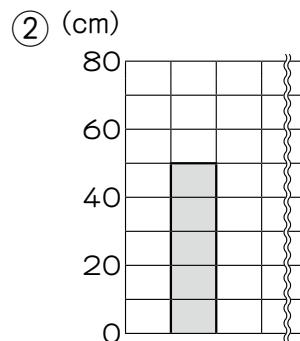
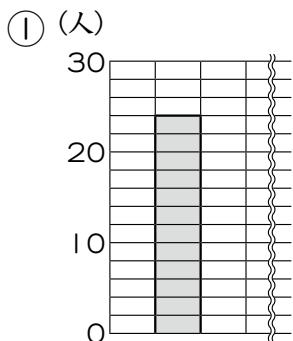
ねらい 棒グラフのいろいろな表し方を理解する。

1 下のグラフは、たけしさんの学年の人たちが、先週、図書室でかりた本の
しゅるいと数を表したものです。グラフを見て答えましょう。



- ① 1めもりは、何さつを表しているでしょうか。 ()
- ② でん記は、何さつでしょうか。 ()
- ③ 図かんは、何さつでしょうか。 ()

2 次の①から③のぼうグラフで、たてじくの1めもりが表している大きさと、
ぼうが表している大きさを書きましょう。



1めもり () () ()

ぼうが表している大きさ () () ()

名前

ねらい 棒グラフのかき方を理解する。

① ぼうグラフのかき方について考えます。

あきこさんの家で、ある月に出したゴミの数について調べ、表にせいりしました。
これをぼうグラフに表しました。

(1) たてじくの1目もりは、

ゴミ () こ分を表しています。

(2) グラフ上のⒶには、「表題」を書きましょう。

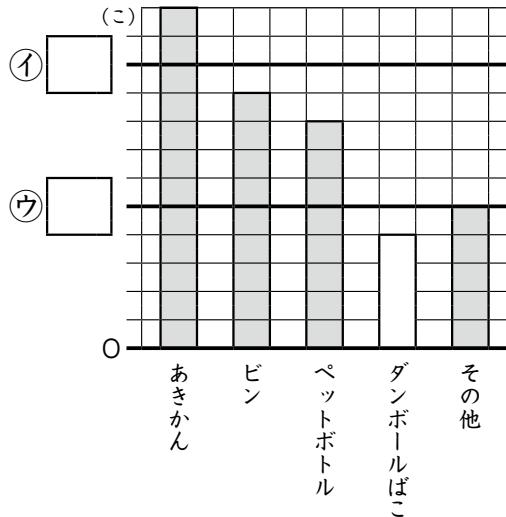
(3) Ⓛ、Ⓑに、目もりの数を書きましょう。

(4) ダンボールばこの数を表すぼうを、グラフの中に書きましょう。

〈ゴミ調べ〉

しゅるい	数(こ)
あきかん	12
ビン	9
ペットボトル	8
ダンボールばこ	4
その他の	5
合計	38

Ⓐ ()

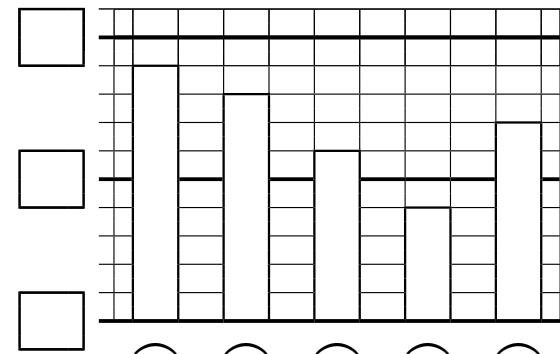


② 下の表は、3年1組の人たちのすきなくだものについてまとめたものです。この表を、ぼうグラフに表しましょう。

〈すきなくだもの〉

しゅるい	人数(人)
みかん	9
いちご	8
バナナ	6
メロン	4
その他	7
合計	34

() ()



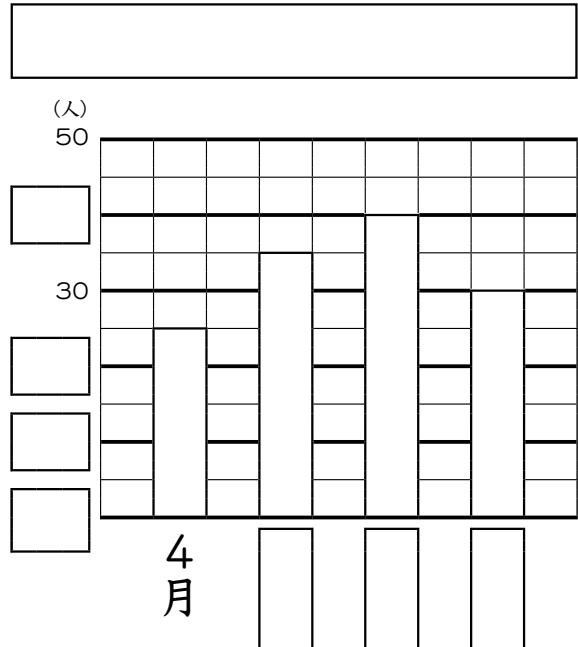
… … … …

ねらい 1 目盛りの大きさが1でない棒グラフのかき方を考える。

① 下の表は、3年1組で4か月間に学校の図書館にある本をかりた人の人数を調べたものです。これを、ぼうグラフに表しましょう。

本をかりた人の人数調べ

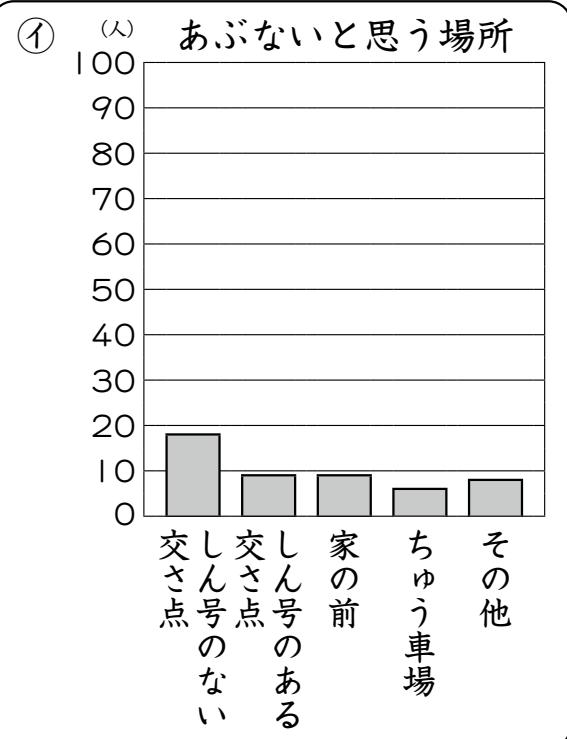
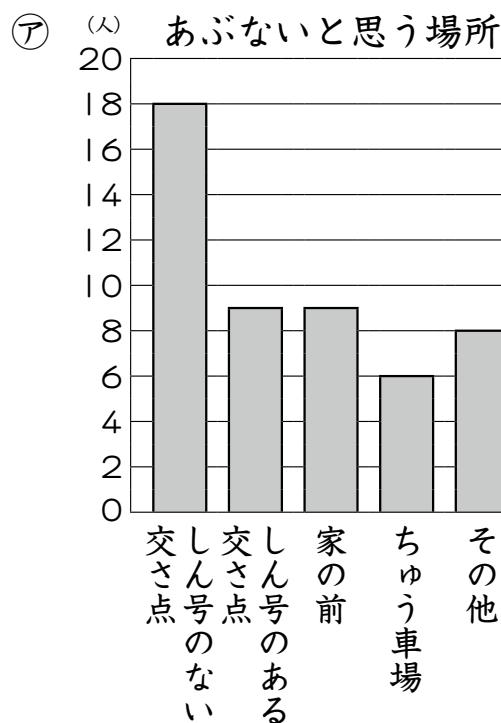
月	人数(人)
4月	25
5月	35
6月	40
7月	30



② 下の⑦と①のぼうグラフは、同じけっかを表しています。

ぼうの長さがちがうのは、なぜでしょうか。

()



44

6 表とぼうグラフ ⑥

名前

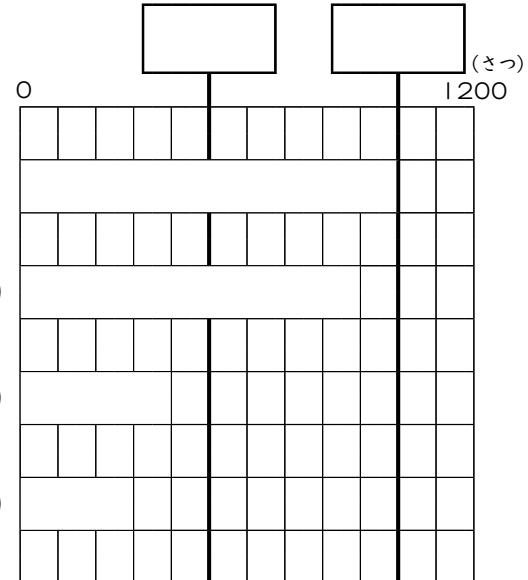
ねらい 横向きの棒グラフのかき方や目的に合った目盛りの付け方を考える。

1 下の表は、学校の図書館にある本のさつ数を調べたものです。

これをさつ数の多いじゅんにならべてぼうグラフに表しましょう。

本の種類	さつ数 (さつ)
図かん	400
ものがたり	1000
でん記	300
絵本	900

ものがたり
()
の
()
で
()



2 下の表は、学校で4か月間にけがをした3年生の人数を調べたものです。

このけっかを、下のグラフ用紙を使って、ぼうグラフに表します。

たてじくの1めもりを、次の④から⑤の大きさにするととき、

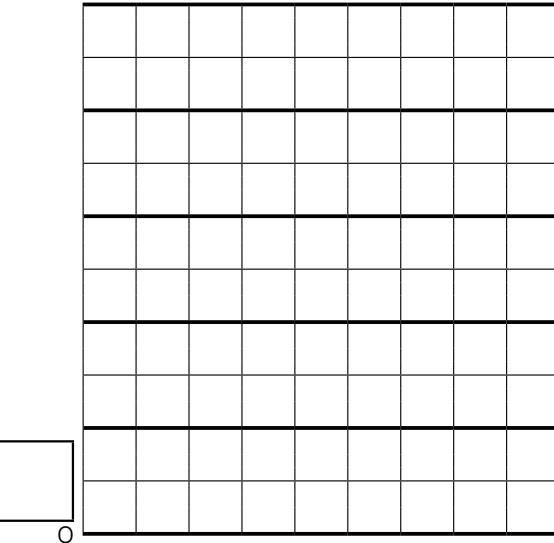
グラフ用紙にぼうグラフが入らなくなってしまうものを、すべてえらびましょう。

けが調べ (3年生)

月	人数 (人)
4月	27
5月	32
6月	41
7月	36

④2人 ⑤3人
⑥4人 ⑦5人

けが調べ (3年生)



()

4月 5月 6月 7月

ねらい 2次元表の読み方、書き方を理解する。

① 3学期に、3年生がどんなりゆうで休んだか、月べつに調べて、下の3つの表にまとめました。

〈1月に休んだ人数〉

休んだりゆう	人数
かぜ	8
けが	2
ふくつう	3
その他	2

〈2月に休んだ人数〉

休んだりゆう	人数
かぜ	17
けが	3
ふくつう	1
その他	4

〈3月に休んだ人数〉

休んだりゆう	人数
かぜ	6
けが	5
ふくつう	2
その他	1

下のように、3学期に休んだりゆうごとに人数がわかるように、1つの表にしました。

①から⑩のあいたところに、あう数やことばを書きましょう。

〈1月から3月までに休んだ人数〉 (人)

りゆう	月	⑤()	⑥()	⑦()	合計
①()		8	17	6	31
②()		2	3	5	10
③()		3	1	⑧()	6
④()		2	⑨()	1	7
合計		15	25	14	⑩()

46

6

表とぼうグラフ
(学んだことを使おう)

⑧

名前

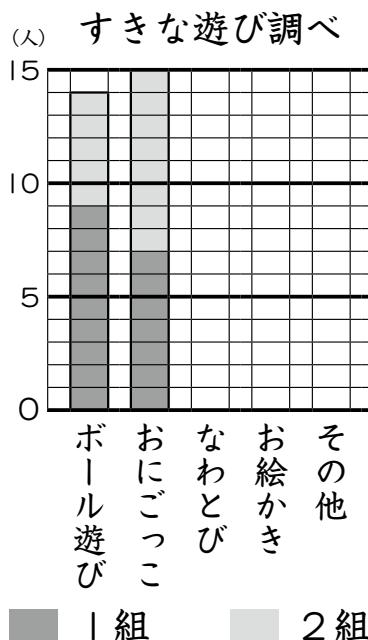
ねらい 目的に応じて、複数の棒グラフを組み合わせるなど、棒グラフに表すときの工夫の仕方について考えることができる。

- ① 下の表は、さきえさんの学校で3年1組と2組で、
すきな遊び調べをしたけっかです。

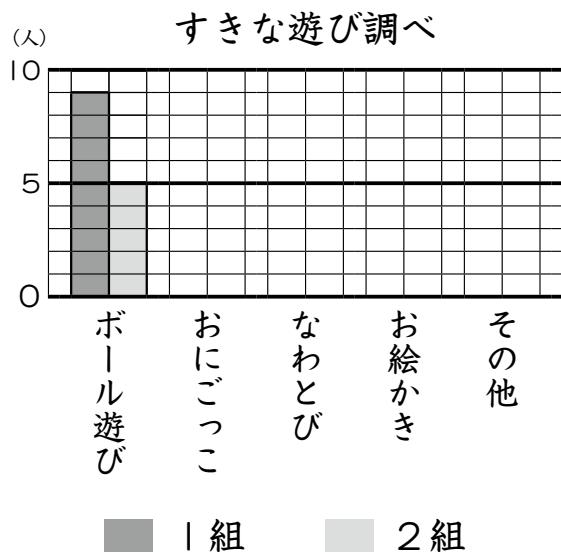
〈すきな遊び調べ〉

遊び 組	ボール遊び	おにごっこ	なわとび	お絵かき	その他
1組	9	7	6	4	5
2組	5	8	8	7	3

- ① さきえさんは、下のようなぼう
グラフを書いています。ぼうグラ
フのつづきを書きましょう。



- ② しんごさんは、下のようなぼう
グラフを書いています。ぼうグラ
フのつづきを書きましょう。



- ③ しゅるいごとの合計が分かりやすいのは、どちらのぼうグラフでしょうか。

(さきえさん しんごさん)

- ④ 1組と2組の数をくらべやすいのは、どちらのぼうグラフでしょうか。

(さきえさん しんごさん)

47

7 あまりのあるわり算 ①

名前

ねらい あまりのある除法（包含除）の意味、除法の式について理解する。

① りんごを3こずつ、ふくろに入れます。に式や数を書きましょう。

① りんごが12こあるときは、何ふくろに分けられますか。

式

答え

ふくろ

② りんごが13こ、14こ、15このときの、ふくろの数をもとめる式をつくりましょう。

÷3で考えると、

りんご13このとき

÷3

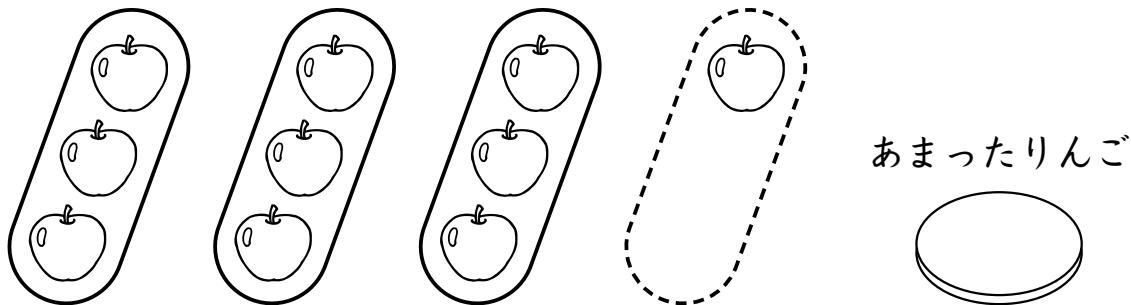
りんご14このとき

÷3

りんご15このとき

÷3 =

13÷3や14÷3の答えは、
12÷3と15÷3の間だから
4より小さくはならないし
5より大きくはならない
ことがわかりますね。

③ 13このりんごを3こずつ分けるときのようすを図にかいて考えました。
図のつづきをかきましょう。

④ 13このりんごを3こずつ分けるときの式と答えを書きましょう。

式

 = あまり

(ふくろの数)

(あまつたりんご)

答え

ふくろ できて

こ あまる

ねらい 除法のあまりの大きさを理解する。(包含除)

① さちおさんは、下の問題を、2とおりの方ほうで考えてみました。

〈問題〉 21人の子どもが5人ひと組になっておどります。

何組てきて、何人あまるでしょうか。

図や式で表しましょう。

〈図〉



〈式〉

答え

② まちがいをなおして、
正しくしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 27 \div 5 = 4 \text{あまり} 7$$



()

$$\textcircled{2} \quad 27 \div 4 = 6 \text{あまり} 5$$



()

③ □の中に数を書きましょう。

$$12 \div 4 = 3$$

$$13 \div 4 = 3 \text{あまり} \boxed{}$$

$$14 \div 4 = 3 \text{あまり} \boxed{}$$

$$15 \div 4 = 3 \text{あまり} \boxed{}$$

$$16 \div 4 = 4$$

$$17 \div 4 = 4 \text{あまり} \boxed{}$$

$$18 \div 4 = 4 \text{あまり} \boxed{}$$

49

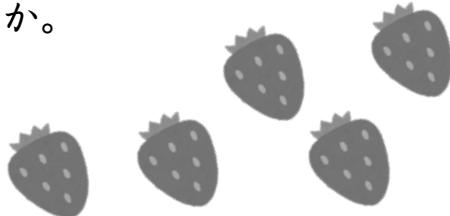
7 あまりのあるわり算 ③

名前

ねらい あまりのある除法（等分除）の計算ができる。

- ① いちごが31こあります。4人で同じ数ずつ分けると、1人分はどこになって、どこあまるでしょうか。

① 式を書きましょう。



- ② 答えのもとめ方を考えましょう。□にあてはまる数を入れましょう。

$$6 \text{こずつ } 4 \text{人分 } 6 \times 4 = 24 \rightarrow 7 \text{ こあまる}$$

$$7 \text{こずつ } 4 \text{人分 } \boxed{} \times 4 = \boxed{} \rightarrow \boxed{} \text{ こあまる}$$

$$8 \text{こずつ } 4 \text{人分 } 8 \times 4 = 32 \rightarrow \boxed{} \text{ こたりない}$$

$$31 \div \boxed{} = \boxed{} \text{ あまり } \boxed{} \text{ こ}$$

答え 1人分は こになって こあまる

- ② 次のわり算をしましょう。

① $36 \div 5 =$

② $50 \div 6 =$

③ $45 \div 7 =$

④ $47 \div 8 =$

⑤ $71 \div 9 =$

⑥ $51 \div 6 =$

ねらい あまりのある除法の答えの確かめの式を理解する。

① つぎのわり算の答えをたしかめましょう。□にあてはまる数を書きましょう。

① $31 \div 7 = 4$ あまり 3

たしかめ $7 \times 4 +$ =

② $50 \div 6 = 8$ あまり 2

たしかめ $6 \times$ + =

③ $49 \div 8 = 6$ あまり 1

たしかめ \times + =

④ $78 \div 9 = 8$ あまり 6

たしかめ \times + =

② つぎの計算をしましょう。また、答えのたしかめもしましょう。

① $16 \div 3$

(たしかめ)

② $31 \div 5$

(たしかめ)

③ $30 \div 4$

(たしかめ)

④ $56 \div 6$

(たしかめ)

⑤ $23 \div 8$

(たしかめ)

⑥ $34 \div 7$

(たしかめ)

⑦ $50 \div 6$

(たしかめ)

⑧ $59 \div 9$

(たしかめ)

51

名前

ねらい 除法の余りの処置（余りを加える場合）について考えることができる。

- ① 子どもが29人います。1つの長いすに5人ずつすわっています。
みんながすわるには、長いすは何こいるでしょうか。
□にあてはまる数を書きましょう。

① 式を書きましょう。

〈式〉 = あまり

- ② 子どもたちが全員すわるためには、長いすは こいります。
このことを式に表すと + 1 = となります。

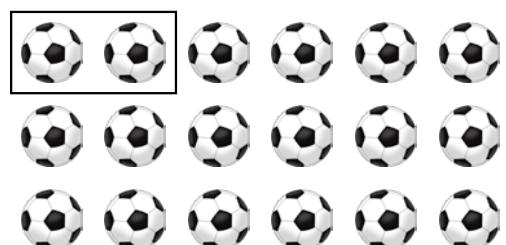
- ② 29人みんなが6人ずつのグループで長なわとびをするには、
長いなわは何本あればよいでしょうか。

〈式〉

答え ()

- ③ サッカーボールが15こあります。
1回に2こずつはこぶと、
何回で全部はこべるでしょうか。

1回に2こはこぶ



〈式〉

答え ()

ねらい 除法のあまりの処理（余りを除く場合）について理解する。

- ① 25このいちごがあります。このいちごを1人に3こずつくばると、何人にくばることができて、何こあまるでしょうか。

〈式〉

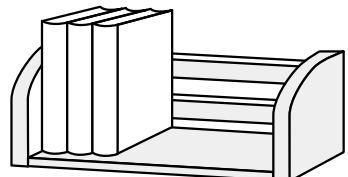
答え () 人にくばれて () こあまる

- ② 花が27本あります。この花を6本ずつたばねて花たばをつくります。6本ずつの花たばは、いくつできるでしょうか。

〈式〉

答え ()

- ③ はばが28cmの本立てがあります。この本立てに、あつさ3cmの本を入れていきます。本は何さつ入るでしょうか。



〈式〉

答え ()

ねらい 日常生活の場面と関連付けて、あまりのある除法の計算を活用することができる。

① ある月のカレンダーです。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17

① 木曜日の日にちを7でわってみましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

木曜日の日にちを7でわってみると、

$$1 \div 7 = \boxed{\quad} \text{あまり} \boxed{\quad}$$

$$8 \div 7 = \boxed{\quad} \text{あまり} \boxed{\quad}$$

$$15 \div 7 = \boxed{\quad} \text{あまり} \boxed{\quad}$$

木曜日の日にちは、7でわると
あまりは $\boxed{\quad}$ になる。

② つぎの曜日は、7でわってあまりがいくつになっているでしょうか。

月曜日 () 火曜日 () 水曜日 ()

金曜日 () 土曜日 () 日曜日 ()

③ この月の26日は何曜日でしょうか。

〈式〉

答え ()

54

3年 杉並算数ドリル

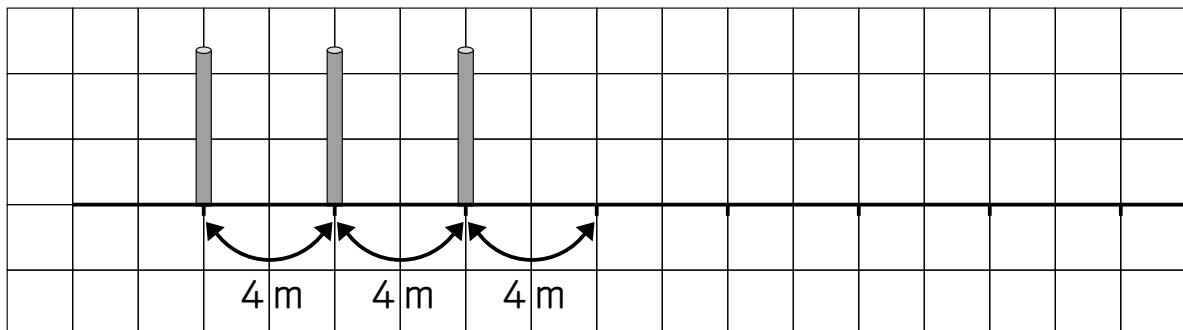
算数ワールド
なみ木道

学習した日 月 日

名前

ねらい 木の本数と間の数の関係の問題（植木算）を、図や式などを用いて筋道立てて考えることができる。

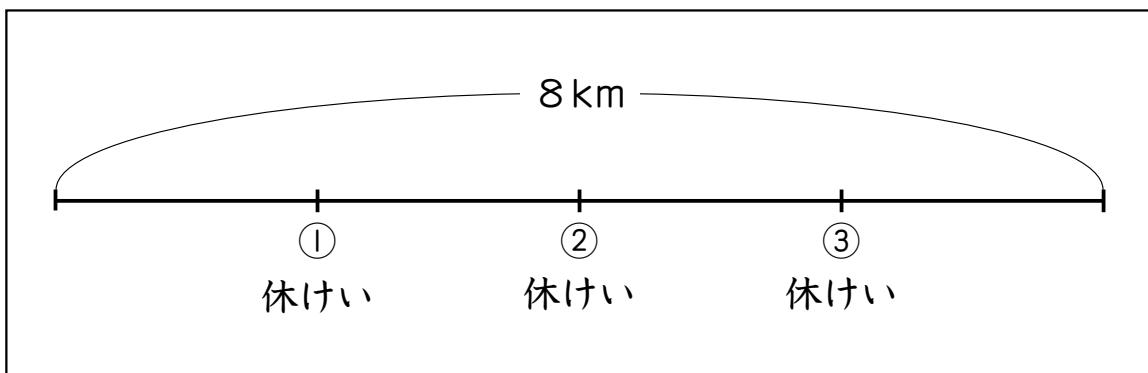
- ① 花だんに4mおきにくいが7本植えてあります。
くいのはしからはしまで何mでしょうか。



〈式〉

答え ()

- ② ハイキングで8km歩きます。その間に3回休けいをして、
一度に歩く道のりがすべて同じになるようにします。
何kmごとに休けいをすればよいでしょうか。



〈式〉

答え ()